

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	水産課長 細馬 康二	電話番号	0852-22-5311
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	漁業無線管理運営事業		
目的	(1) 対象	漁業者・官公庁	
	(2) 意図	漁業無線の有効な利用を促進し、漁船等の安全確保の向上を図る	
事業概要	海上における危機管理体制を構築するため、漁業指導無線業務を運営するとともに、H19に施設整備されたJFしまね漁業無線局の安定運営に寄与するため、JFしまねに対して、整備費の一部を負担する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		10,000	10,000	10,000	
式・定義	漁業無線指導所の漁業無線通信回数	実績値	11,646	11,617	11,538	11,591		回
		達成率		116.20	115.40	116.00		%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率		0.00	0.00			%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	18,721	4,402
うち一般財源(千円)	18,721	4,402

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

漁業指導無線業務は24時間体制で実施されており、本県漁船の安全確保に寄与している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

島根県所有船との通信及び漁船に対し指導監督に関する通信、組合員への気象情報、海上防災情報及び漁海況速報の提供により海難事故の防止と操業能率の向上に貢献した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

通信に必要な資格者が極めて少ないため、嘱託職員の公募を行っても応募がないなど、人員の採用に支障を来している。

②困っている状況が発生している「原因」

通信業務を行うためには資格が必要なこと。

③原因を解消するための「課題」

法令に基づく資格であるため、手段なし。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

更なる効果的かつ効率的な情報提供を検討するとともに、有資格者の確保に努める。なお、現在の体制（直轄）以外で漁業指導無線業務が行えないか、検討する必要がある。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）